




「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

令和元年 7月 24日	
所属部局・職	野生動物研究センター・修士課程学生
氏名	鳥井 朋恵

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
日本、新潟県妙高市
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
基礎フィールドワーク実習無雪期
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
令和元年6月28日 ~ 令和元年7月1日 (4日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
京都大学笹ヶ峰ヒュッテ
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
今回の渡航では、訓練を行った。 この機会を得て、悪天候の中でのフィールドワークの準備と対応について学んだ。大雨かつ足場の悪い環境の中でのフィールドワークは初めての経験だったため、準備不足や予想外のことが多くあり、今後の課題を多く見つけることができた。 また、今回は屋久島や幸島と違い人に慣れていない野生動物を探して観察する機会に恵まれた。驚かせないように少しずつ近づくという基本さえ私は身につけていなかったもので、とてもいい勉強になった。
   
フィールドでは、様々な動植物を観察することができた。
6. その他 (特記事項など)